

高知家は、いろんな家族で大家族。



高知家の畜産

肉用牛農家を目指す方へ
令和6年度
研修生募集!

高 知 県

畜 產 担 い 手 育 成 畜 舎
研 修 案 內



“目指す就農”に合わせて選べる 研修コース

短期研修コース

研修期間

数日～2週間程度

研修内容

こんな方におすすめ！

『牛飼いに興味があるけどいきなり農家で
研修は不安…お試し研修できないかな？』

- 日常研修に加え、将来の就農に向けての相談、支援案の作成等

＼こんなことができます／
牛の餌やり・子牛の哺乳・牛舎掃除 etc...



長期研修コース

※年2名程度

研修期間

1～2年

研修内容

こんな方におすすめ！

『基礎知識も得たいし、しっかり研修もしたい！
家畜人工授精師の資格もほしい！』
就農先のある後継者、新規就農希望者の方

- 飼養管理、自給飼料管理など日常研修が主
- 家畜繁殖理論など高度な畜産知識の習得のため家畜人工授精講習会の受講を義務づけています（研修中または研修1年後まで）
- 四万十町「農業担い手育成センター」の講座を受講することで、農業の基礎知識も習得できます

篤農家研修コース

※年2名程度

研修期間

3ヶ月程度

研修内容

こんな方におすすめ！

『目指す経営は決まってる。理想の「師匠」に弟子入りして、研修するぞ！』
指導農業士（篤農家）または親元で研修中の就農予定者が研修先で学べないことを高度化研修として学べます

- 飼養管理、自給飼料管理など日常研修が主
- 高度化研修としての畜産担い手育成畜舎での研修

＼例えば…／

指導農業士Aさんのもとで研修中…
餌づくりや人工授精を学ぶため、
3ヶ月間の高度化研修をしたい!!



研修料

520円/日（税込）

宿泊施設

場所

畜産担い手育成畜舎
(高知県畜産試験場内)

畜産試験場研修生宿舎を利用可能です



〒789-1233

高知県高岡郡佐川町中組1247番地

TEL : 0889-22-0044

メール : 160908@ken.pref.kochi.lg.jp

- 公共交通機関をご利用の場合
1.高知龍馬空港からJR高知駅まで
空港連絡バスで約35分
2.JR高知駅からJR斗賀野駅まで
普通列車で約1時間
3.JR斗賀野駅から徒歩約15分

- お車をご利用の場合
高知市から約1時間



※水道光熱費は自己負担です。

※研修生の受入人数によってはルームシェアいただく場合があります。

※部屋数に限りがあり、ご希望に沿えない場合があります。

※詳しくは研修希望時にご相談ください。

研修スケジュールとカリキュラム

※4月から研修を開始した場合

講義	1年目												2年目											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実習																								
家畜人工授精講習会																								
マッチング																								

講義

- 高知県畜産の概要
- 就農と研修の心構え、畜産就農までの道筋と支援、JAの仕組みと役割
- 肉用牛の概要と特徴
- 生育ステージと飼養管理
- 購入飼料と自給飼料
- 牛疾病の種類と対応
- 堆肥処理と臭気対策
- 畜産経営
- 販売・流通・マーケティング
- 農業機械の基礎①(安全講習)※
- 農業機械の基礎②(安全操作)※
- 就農計画各論①(就農のビジョンと計画)※
- 就農計画各論②(支援制度)※
- 就農計画各論③(農地確保)※
- 就農計画各論⑤(経営改善資金計画)※
- 農業経営各論①(複式簿記の基本)※
- 農業経営各論②(パソコン農業簿記)※
- 農業経営各論③(青色申告)※
- 農業経営各論④(農業の労務管理)※

※ 高知県立農業担い手育成センターでの講義
(一部オンライン受講可能)

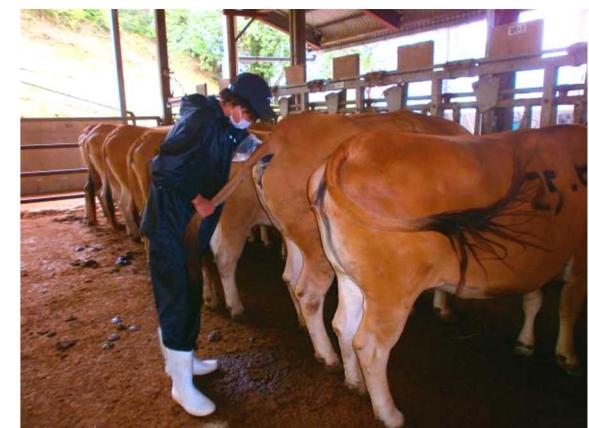
実習

- 畜産概論
- ロープワークおよび牛の誘導方法
- 牛舎施設設計
- 飼養管理(給餌・哺乳・牛舎掃除等)
(子牛・育成・去勢・繁殖・肥育)
- 家畜の栄養
- 飼料の購入、運搬、貯蔵
- 糞尿処理の方法および臭気対策
- 牛の削蹄
- 家畜の審査(体重・体尺測定、栄養度等)
- 牛疾病の基礎
- 自給飼料の基礎
- 出荷および家畜市場見学
- 先進農家の研修
- 農業機械の整備点検
- 農業機械実習②(トラクター等)※

※ 高知県立農業担い手育成センターでの実習

家畜人工授精講習会

- 繁殖の基礎
- 受精卵移植
- 関係法規
- 家畜の育種
- 精子生理
- 生殖器解剖
- 繁殖生理



家畜人工授精講習会

マッチング

- 畜産法人とのマッチング
- 就農地域とのマッチング



講義

就農に必要な心構えから支援制度、畜産経営など就農に必要な知識が学べます



実習

畜舎での実習を行いながら、牛の飼養管理について学べます



マッチング

畜産農家体験研修や産地のマッチングを支援し、就農を希望する産地での実践的な農家研修をサポートします

研修生の1日(例)

8:30-12:00(途中休憩あり)

畜舎実習

12:00-13:00

昼食

13:00-15:00

講義

15:00-17:00(途中休憩あり)

畜舎実習

＼畜産担い手育成畜舎研修生の声／

○竹崎 淳さん (R3年度 篤農家研修コース受講)

祖父の代から土佐あかうしを飼っており、家業を継ぐため親元就農しました。父から教わる「自己流」の知識だけにならないよう、今回の研修を希望しました。

これまで、牛のことは餌やりの手伝い程度しかしたことがなかったのですが、研修では基本的なことから細かく丁寧に教えていただきました。

牛の扱い方や観察方法、病気等について、講義等で学んだことを実際に牛と接しながら実践することにより深く理解することができ、自分の知識が増えていく実感がありました。教えていただいたこと一つ一つが研修の中でつながっていくことが面白く、毎日楽しく研修させていただきました。

今後は、研修で得たことを活かしながら、自分のスタイルを作っていくけるよう、頑張っていきたいと思います。



○磯崎 智世さん (R5年度 篤農家研修コース受講)

家畜人工授精師の免許は持っていますが、免許取得後に実際に人工授精をする機会がほとんどありませんでした。今回、親元就農するにあたって、人工授精技術の復習をしたいと思い、研修を希望しました。

研修では、学びたいことを事前にお伝えしていたのですが、しっかり勉強することができました。農家見学で、色々な農家のやり方を見れたことや、お話をされたことも嬉しかったです。



研修までの流れ



まずはご相談から

面談・支援検討

肉用牛農家になるぞ!!

＼お試しで研修したい／

短期研修コース

- ・研修申込書提出
- ・書類審査

短期研修
スタート!

もっとしっかり
研修したい!



長期研修へ
面談・支援検討

＼しっかり研修したい／

長期研修コース

- ・研修申込書提出
 - ・面接および書類審査
- (就農準備資金を受給する場合は別途申請が必要)

長期研修
スタート!

就農へ



研修・就農に関するお問合せ・ご相談窓口

＼畜産での就農・研修を考えている方／

●畜産総合窓口

一般社団法人 高知県畜産会
〒781-8125 高知県高知市五台山5015-1
TEL : 088-883-8161

＼農業全般での就農・研修を考えている方／

●農業総合窓口

高知県農業経営・就農支援センター 就農コンシェルジュ
(一般社団法人 高知県農業会議内)
〒780-0850 高知県丸ノ内1丁目7-52 高知県庁西庁舎3F
TEL : 088-824-8555
メール : 39syuunousoudan@nca.or.jp

先輩の声 (新規就農・肉用牛繁殖経営)



肉用牛農家になろうと思ったきっかけ

僕は、高知県西部にある幡多郡三原村の出身です。僕が子どもの頃には村内の色々な所で牛を飼育している方がいて、その風景を見ながら育ってきた為、将来は動物に関わる仕事をしたいと考えていました。その後、農業高校に進学し、卒業後に県外の農業関係の研修生として様々なことを学んでいく中で、肉用牛経営に興味を持ちました。

宮崎県都城市の和牛一貫経営の牧場と高知県四万十市の和牛肥育経営の牧場で従業員として働いたのち、令和4年10月に出身地である三原村の隣にある宿毛市で肉用牛の繁殖農家として就農しました。現在は、黒毛和種の繁殖雌牛27頭を飼育しています。

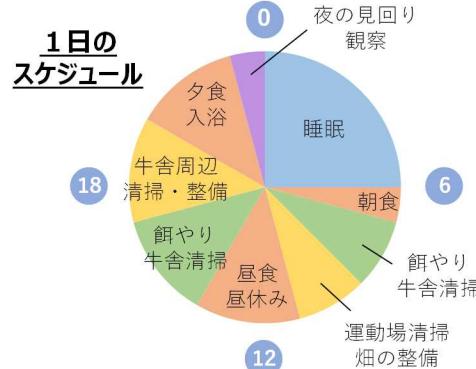
毎日の餌やりや分娩など大変なこともありますが、管理している牛の成長を見ながら、肉用牛の現場に携われていることに感謝しつつ、日々の作業をこなしています。

畜産担い手育成畜舎の研修について

就農するにあたり高知県畜産担い手育成畜舎の研修を受講しました。今まで従業員として牧場で働いていた経験や知識を改めて復習するという意味で、かなり実りのある研修でした。

研修中に受講した家畜人工授精講習会は、資格を取得できただけでなく、講師の方が熱心に教えてくれたお陰で、就農後の人工授精も順調に行えています。

研修では、自分が詳しく知りたい事を伝えれば丁寧に説明してもらえるので、ぜひ聞いてみてください。



就農を考えている皆さんへ

肉用牛経営は、毎日牛と接することがメインの仕事になってくるので、色々な実践を伴う研修を受ける事をオススメします。

また、生産者さんとの交流を重ねて繋がりを作ることも大切になります。

さらに、SNSやインターネットに上がっている全国の生産者さんや各種行政機関の発信している情報をチェックしたりするのも自分の引出しを増やすという意味で選択肢として考えるのもオススメです。



阿部 弘史さん

(R4年度 篤農家研修コース受講)



＼県の具体的な支援事業について知りたい方／

●高知県 農業振興部 畜産振興課

〒780-0850 高知県丸ノ内1丁目7-52
高知県庁西庁舎3F
TEL : 088-821-4810 FAX : 088-821-4578

または

●高知県 農業振興部 農業担い手支援課

〒780-0850 高知県丸ノ内1丁目7-52
高知県庁西庁舎3F
TEL : 088-821-4512 FAX : 088-821-4519